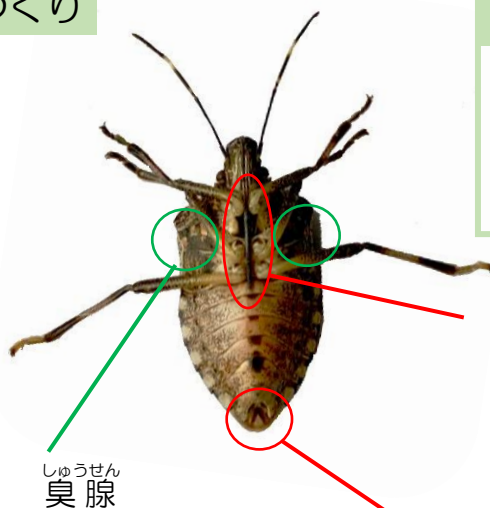
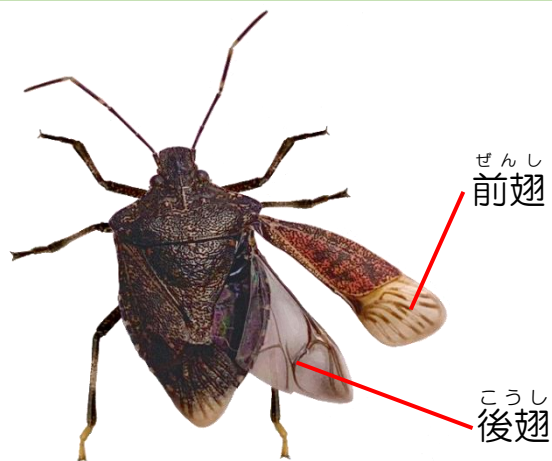


触れたり驚かせたりすると特有のにおいを放ち、厄介者扱いされることが多いカメムシ。
裏磐梯でも秋～冬にかけて、越冬場所を探している成虫が屋内に入ってくるため身近にいる昆虫といえるでしょう。よく見かけるけど、詳しくは知らないカメムシとカメムシの仲間について調べてみました。

よく見かけるクサギカメムシの体のつくり



クサギカメムシ

halyomorpha halys

分布：北海道～沖縄

最も多くみられる種類。

多くの作物などから吸汁するため農家からは害虫とされています。

成虫は胸部から液体を分泌します。



成虫 生殖節による雌雄の見分け

あの臭いは何のために出すの？

パクチー(コリアンダー・^{ジャンツアイ}香菜)に似ていると言う人も多く、青臭いにおい。

カメムシにとっては身を守る武器であり、仲間とコミュニケーションをとるための信号(フェロモン)でもあります。

カメムシの仲間

サシガメ・セミ・ヨコバイ・タガメ・アメンボなどの

半翅目という昆虫のグループはカメムシの仲間です。

草木から吸汁したり、他の生き物の体液を吸ったりする口吻(こうぶん)を持っているのが共通の特徴です。



臭くないカメムシもいます。

キバラヘリカメムシの匂いは

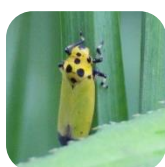
青りんごに似た匂いともいわれます。



アカヘリサシガメ



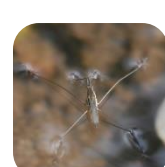
エゾハルゼミ



ツマグロオオヨコバイ



タガメ



アメンボのなかま

柄や色がきれいなカメムシ



アカスジカメムシ

派手な色や模様は警告色としての役割があります。



アカアシカスミカメ

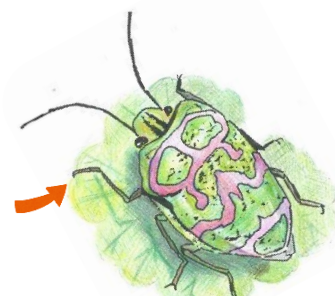
細長い体、透ける翅が一見カメムシには見えないですね。



アカスジキンカメムシ(幼虫)

成長するとまったく違う姿になります。

成虫は赤い帯がキラキラと輝き「歩く宝石」と言われるほど。



(成虫)